

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医薬品等医療安全対策事業	事業開始年度	平成13年度	作成責任者		
担当部局庁	医薬食品局	担当課室	安全対策課	課長 森 和彦		
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	医療安全推進総合対策(平成14年4月)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬品・医療機器に起因した事故事例等に関して独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する分析・評価結果や他省庁等からの情報をもとに具体的な改善策を検討し、必要に応じて有識者等の意見を聞いた上で、ガイドラインの策定、製品の基準化、関係団体への要請を行うなどの改善策の具体化を図り、医療安全の向上を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医薬品・医療機器等の名称類似、外観類似、仕様などの「もの」に起因する医療事故やヒヤリ・ハット事例が報告されていることから、これらを幅広く収集・分析することによって「もの」に起因する事例に対して、改善策を検討・実施している。具体的にはフェルセーフ(故障・誤操作時に安全な方に作動)やフルプルーフ(誤操作をしても危険にさらされない)の考えを基に表示やデザインを変更することで、医療事故やヒヤリ・ハット事例の防止に繋がるような製品を医療の場に提供することを目的として、その対策に取り組んでいる。					
実施状況	医薬品・医療機器等対策部会を年2回開催。(第17回:平成21年8月27日 第18回:平成22年3月25日)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	27	5	3	3	3
	執行額	24	1	2		
	執行率	89%	20%	67%		
	総事業費(執行ベース)	24	1	2		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	医薬品・医療機器等対策部会を年2回開催。当部会の意見を踏まえ、類似名称医薬品の販売名変更、気道内圧モニター用チューブの水分貯留に関する注意を喚起するなどの対策に取り組んだ。				
	見直しの余地	部会開催予定日を早期に決定して、使用料の生じない共用会議室の確保に努めると共に、部会資料の精査を行い資料作成に係わる経費の節減に努めたい。				
予算監視の効率化	医薬品・医療機器に起因した事故事例等の分析、評価結果等をもとに具体的な改善策を検討・具体化するために必要な経費であり、21年度は特殊事情により不用額が生じているが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記	平成21年度は、新型インフルエンザ対応のため、部会の開催や海外出張などを控えたという特殊事情があったため、平成23年度要求額は、平成22年度予算額と同額を要求している。					

A. 厚生労働省
1.7百万円
医薬品・医療機器等対策部会の開催



【随意契約】

東京ワークショップ
0.09百万円
医薬品・医療機器等対策部会の
議事録を作成。

うち事務費1百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 厚生労働省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会場借料	第17回医薬品・医療機器等対策部会開催のため	0.3			
諸謝金	医薬品・医療機器等対策部会出席のため	0.3			
委員等旅費	医薬品・医療機器等対策部会出席のため	0.2			
会議費	医薬品・医療機器等対策部会出席のため	0.01			
外部委託	東京ワークショップ 第17回・第18回医薬品・医療機器等対策部会の議事録を作成。	0.09			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0